

③ 環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況は、表 1-5 に示すとおりである。

なお、本工事の実施期間中（平成 28 年 9 月から平成 31 年 1 月末まで）、騒音に係る苦情は寄せられなかった。

表 1-5 環境保全のための措置の実施状況

評価書における記載内容	事後調査時における実施状況
建設機械については、「排出ガス対策型建設機械指定要領（国土交通省）」、「低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程（国土交通省）」に基づいて指定された、排出ガス対策型、低騒音・低振動型建設機械の導入や、作業手順・工程の調整を図ることにより、周辺地域の環境保全に努める。	建設機械については、低騒音型及び超低騒音型建設機械を導入し、騒音の低減を図った。 （写真 1-2 (1) ～1-2 (5) 参照） 工区を細分化し、建設機械の複数工区での同時稼働を避ける作業工程とした。
工種・作業内容などを勘案し、必要に応じて仮囲い等を設置して、騒音の低減を図る。	工種・作業内容等を勘案し、建設機械の稼働が長期（数週間以上）にわたる場合は、鋼製（一部透明アクリル板）の仮囲い（高さ 3.0m）を設置した。（写真 1-3 参照）



超低騒音型

写真 1-2 (1) バックホウ (0.09m³) 株コマツ PC38UU-5
[街路築造工、路床・路盤工] 使用機材



超低騒音型

写真 1-2 (2) バックホウ (0.5m³) 株コマツ PC120
[路床・路盤工] 使用機材



超低騒音型

写真 1-2 (3) 振動ローラ (3.54t) 酒井重工業株 TW502S-1
[路床・路盤工、舗装工] 使用機材



超低騒音型

写真 1-2 (4) タイヤローラ (12.6t) 酒井重工業(株) TZ703
[路床・路盤工、舗装工] 使用機材



低騒音型

写真 1-2 (5) アスファルトフィニッシャ (2.0~4.5m) 住友建機(株) HA45W-7
[舗装工] 使用機材



写真 1-3 仮囲い (高さ 3.0m) の設置状況

(2) 評価書の予測結果と事後調査の結果との比較検討

① 予測した事項（建設機械の稼働に伴う建設作業騒音）

評価書の予測結果と事後調査の結果（騒音レベル（ L_{A5} ）の最大値）との比較検討の結果は表 1-6 に示すとおりである。

- ・街路築造工事[街きょ等の設置]の騒音レベルの最大値（ L_{A5} ）は 71dB で、評価書の予測結果 79dB を 8dB 下回った。予測結果を下回った理由として、使用したバックホウは超低騒音型であったこと、また、調査地点からトラックミキサー車までの距離は予測時の約 4.3m に対し事後調査時は約 8.0m と離れていたことによるものと考えられる。
- ・舗装工事（路床・路盤工）[敷き均し・転圧]の騒音レベルの最大値（ L_{A5} ）は 79dB で、評価書の予測結果 77～78dB とほぼ同程度であった。
- ・舗装工事（舗装工）[敷き均し・転圧]の騒音レベルの最大値（ L_{A5} ）は 78dB で、評価書の予測結果 79～80dB とほぼ同程度であった。

いずれの工種においても、評価書で評価の指標とした「東京都環境確保条例」に基づく指定建設作業に適用する勧告基準（80dB）を下回った。

表 1-6 評価書の予測結果と事後調査の結果との比較検討（騒音）

単位：dB

工区	工種	作業内容	評価書の予測結果			事後調査の結果		勧告基準値		
			使用建設機械（規格）	騒音レベル（予測値）	騒音レベル（合成値）	使用建設機械（規格）	騒音レベル			
立体交差部	街路築造工事	街きょ等の設置	トラッククレーン（5 t 吊）	76	79	バックホウ（0.09m ³ ）	71	80		
			トラックミキサー車（3m ³ ）	75		トラックミキサー車（5.0m ³ ）				
	舗装工事	路床・路盤工	敷き均し	ブルドーザ（15 t）	78	78	バックホウ（0.50m ³ ）		79	
			転圧	ロードローラ（10～12 t）	77	77	バックホウ（0.09m ³ ）			
		舗装工	敷き均し	ダンプトラック（10～11 t）	78	79	タイヤローラ（12.6 t）			78
				アスファルトフィニッシャー（2.4～5m）	74		アスファルトフィニッシャー（2.0～4.5m）			
	舗装工	転圧	タイヤローラ（8～20 t）	77	80	振動ローラ（3.54 t）	78			
			ロードローラ（10～12 t）	77		タイヤローラ（12.6 t）				

備考 1：路床・路盤工のバックホウ（0.50m³）は路床・路盤施工前の舗装版取壊し及び掘削に用いられた。

2：評価書の予測結果は、「事業計画の変更について－東京都市計画道路放射第35号線（練馬区早宮～北町間）平成24年9月）」において、ボックスカルバート構造を北側に延伸したことにより、再予測した結果である。